

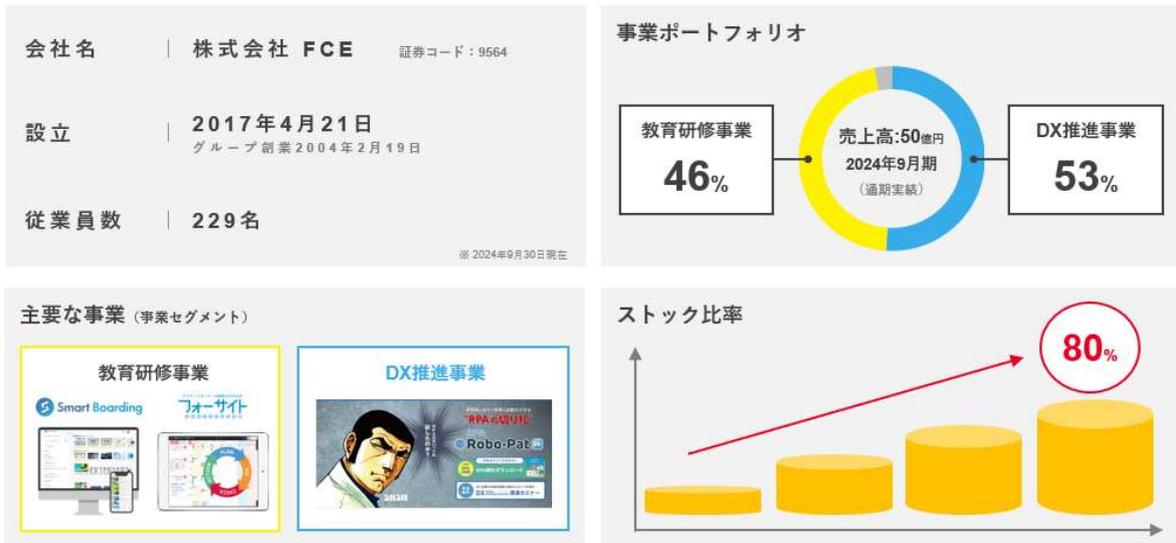
株式会社 FCE[※]

(東証スタンダード:9564)

※2024年1月社名変更

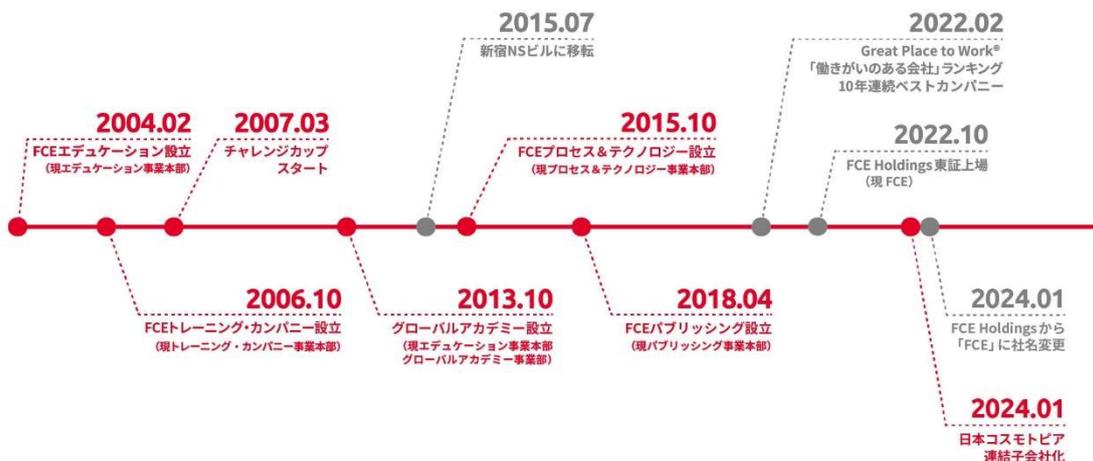
■会社概要

当社の企業としての存在目的を意味するパーパスは、**チャレンジあふれる未来をつくる**
 そのパーパスを実現するためのミッションは、「人」×「Tech」で、**人的資本の最大化に貢献する**
 人的資本最大化の機会を提供することを **DX 推進事業・教育研修事業**によって行っています。



現在、DX 推進事業の売上に占める割合が 50%を超えました。また、ストック売上也全体の約 80%を占めるまでになっており、経営の安定性は増してきています。

■沿革



2004 年に教育事業から始まり、その後、さまざまな事業を展開してきました。その中で企業から「生産性をあげる研修やコンサルティングをしてほしい」という依頼が増えはじめ、研修やコンサルティングだけではなく、テクノロジーを使って生産性を高める支援ができないかを考え、RPA 事業 (現 DX 推進事業) と出会いました。時代の流れの後押しもあって、ストック型のビジネスでもあった RPA 事業は急成長を果たします。そしてコロナを機に、教育研修事業も、e-ラーニングをはじめとするストック型ビジネスへ転換をはかっています。

■主要事業

1. DX 推進事業

純国産 RPA ソフトウェア「RPA ロボパットDX」を導入・勉強会・業務改善コンサルティングサービスをワンストップで提供しています。「RPA ロボパットDX」はプログラミング知識を持たない人でもパソコン業務を自分で自動化できる「パーソナル RPA」として、RPA 製品の導入にハードルを感じている中堅・中小企業や部門単位で導入を検討している大企業に非常に好評で、解約率は1%台と低水準を継続しております。

RPA 「ロボパットDX」だけの【ワンストップ】サービス

RPA 「ロボパットDX」は、RPA導入からロボの作り方勉強会、業務改善や組織改善のサポートまでワンストップで提供するサービスです。



2. 教育研修事業

教育事業では、「7つの習慣」®授業プログラムの提供や、中高生向けのビジネス手帳「フォーサイト手帳」の販売などを行っています。「フォーサイト手帳」は中高生向け手帳市場ではトップシェアを獲得しており、GIGA スクール構想の流れを受け、アプリを開発し、石川県能美市の教育委員会と教育DXを共同推進する等の展開を進めています。研修事業では、社員教育の人財育成プラットフォーム「Smart Boarding」や研修・コンサルティングを提供しています。「Smart Boarding」は、eラーニングの市場ニーズの成長やリスティングのニーズを背景に順調に導入社数が増加しています。



約350,000人、1,100校に導入

振り返り力を高め、毎日書くことでPDCAを回す力を培うことを目的に開発したフォーサイト手帳。紙の媒体でスタートし、2023年度は業界トップシェアを獲得。2023年よりアプリ版をリリースし、全国の学校に無料トライアルを実施中。

社員教育制度構築のプラットフォーム

OJTも研修もeラーニングもこの一つのシステムで実現、専任コンサルタントが教育制度構築の支援も行う社員教育プラットフォーム。

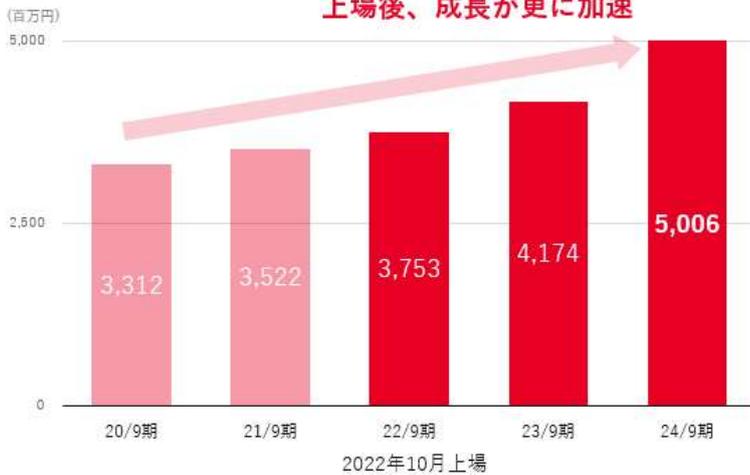
<受賞歴等>

- ・日本の人事部 HRアワード2018 プロフェッショナル部門 人材開発・育成部門 最優秀賞受賞
- ・BOXIL SaaS AWARD eラーニング(システム)部門 Good Services2023 Winter, 2023 Autumn, 2023 Summer, 2023 Spring
- ・BOXIL SaaS AWARD 2022年総合ランキング 人事・給与部門 ノミネート (ベスト評価賞8賞受賞)

■ 2024年9月期通期業績ハイライト

2022年10月上場来、増収増益を継続しており、順調な成長を継続

売上高推移 (連結)



▶ 売上高 (24/9期)

5,006 百万円

前年同期比 **+19.9%** ↑

▶ 営業利益 (24/9期)

721 百万円

前年同期比 **+24.1%** ↑

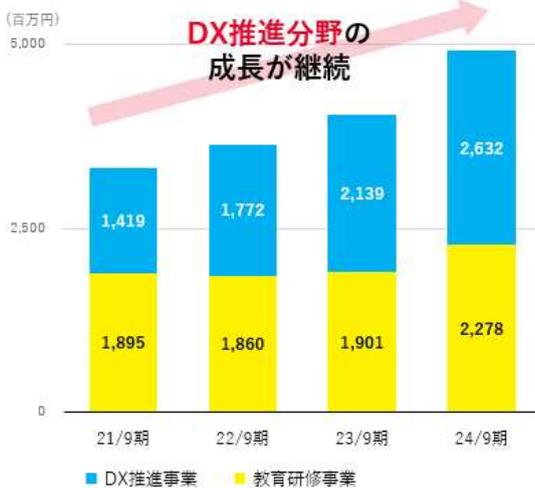
▶ 経常利益 (24/9期)

706 百万円

前年同期比 **+22.8%** ↑

「RPA ロボパットDX」や「Smart Boarding」のDX推進分野が好調な成長を継続しており、当社収益の中核を担っています。

セグメント別売上高推移 (連結)



DX推進事業

▶ セグメント売上高 (24/9期)

2,632 百万円

前年同期比 **+23.1%** ↑

▶ セグメント利益 (24/9期)

695 百万円

前年同期比 **+71.7%** ↑

教育研修事業

▶ セグメント売上高 (24/9期)

2,278 百万円

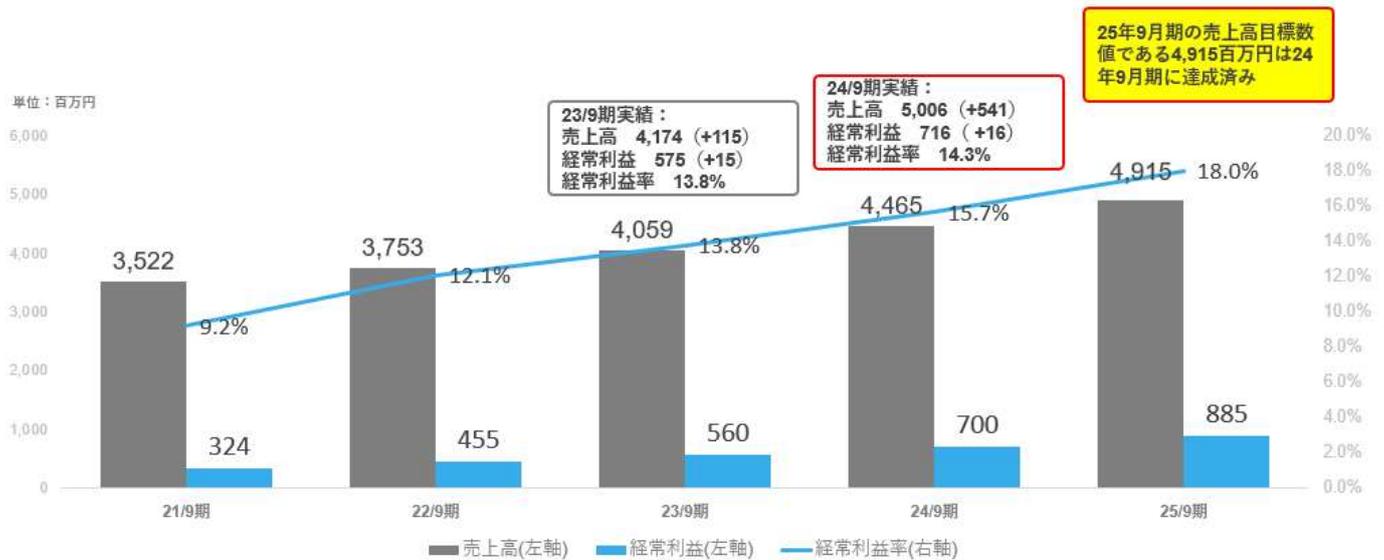
前年同期比 **+19.8%** ↑

▶ セグメント利益 (24/9期)

297 百万円

前年同期比 **+60.9%** ↑

■ 中期経営計画(2023年9月期～2025年9月期)数値目標の修正 (2024年11月13日開示)



2024年9月期においては、売上高は最終年度の業績目標を1年前倒しで達成することができました。

最終年度である2025年9月期においては、引き続きSaaS型ビジネスのRPA Robo-Pat DXやSmart Boardingが好調による影響、中期経営計画発表時には含まれていなかった株式会社日本コスモトピアの連結子会社化の影響等から、売上高及び経常利益が増加する見通しとなり、売上高は5,750百万円、経常利益は915百万円へ修正しました。

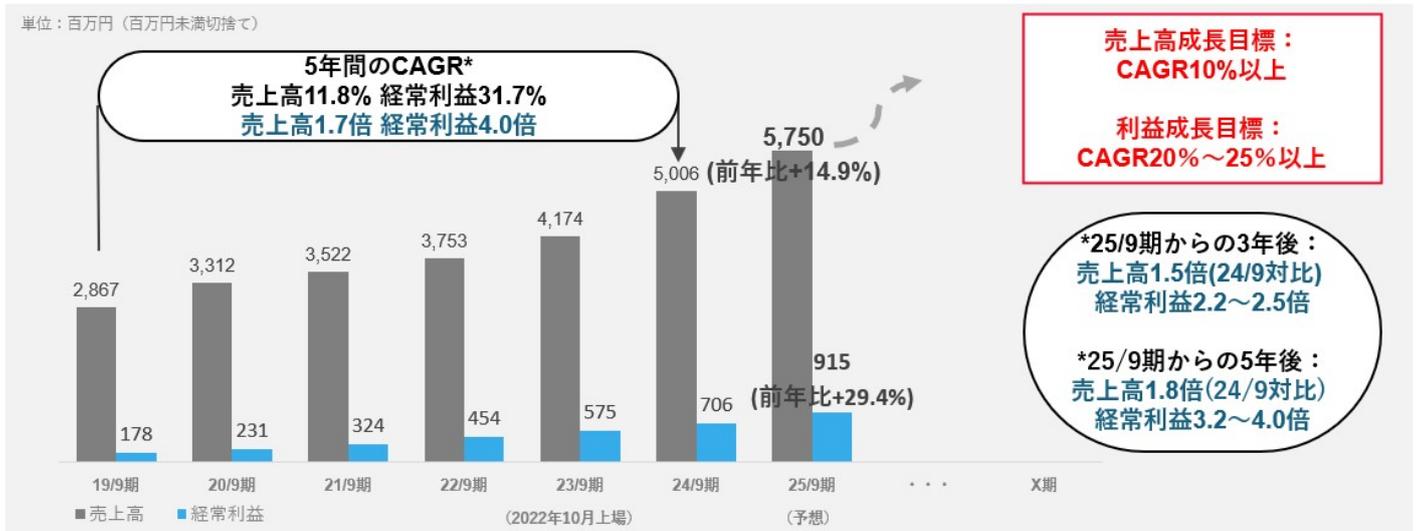
また、経常利益率につきましては、今後も将来に向けた戦略投資に係る費用が増加することを鑑み、当初計画を見直すこととし、15.9%に修正いたしました。

	2023年9月期	2024年9月期	2025年9月期 (最終年度)	
	実績	実績	2023年5月24	修正計画
売上高	4,174百万円	5,006百万円	4,915百万円	5,750百万円
経常利益	575百万円	706百万円	885百万円	915百万円
経常利益率	13.8%	14.1%	18.0%	15.9%

詳細については、開示文書をご参照下さい。

<https://contents.xj-storage.jp/xcontents/AS05165/cada5769/3c96/421b/a9a3/55e6a9079b5c/140120241113521109.pdf>

売上高・利益ともに過去より毎期、継続的な成長を実現しています。
引き続き、新たな事業への取り組みと成長のバランスを意識しながら成長を企図します。



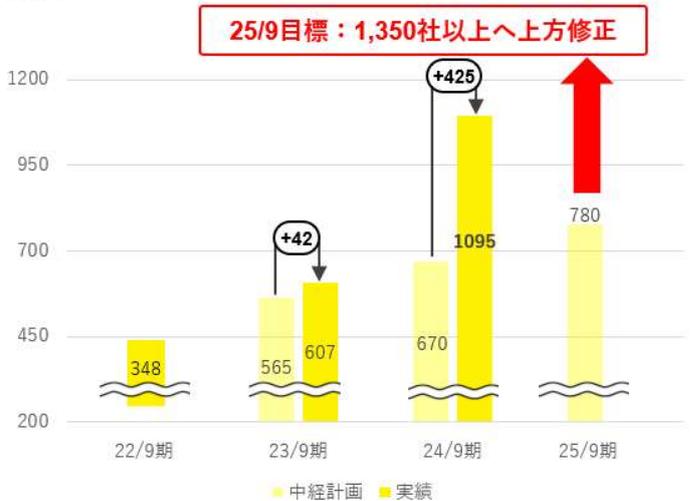
* CAGR：Compound Annual Growth Rate（年平均成長率）
* 3年後/5年後の売上高・経常利益：25/9期以降、売上高10%・経常利益が20%～25%成長した場合、24/9期との比較での倍数

(DX 推進事業・教育研修事業の主要 KPI の状況)

RPA ロボット DX導入社数の推移 (2023年5月24日開示 中期経営計画対比)
単位：社



Smart Boarding導入社数の推移 (2023年5月24日開示 中期経営計画対比)
単位：社



■株主還元の方針

●配当方針

健全な財務体質の維持・向上を図りつつ、利益水準、今後の設備投資、フリー・キャッシュ・フローの動向等を勘案し、配当性向 **25%を目安**として株主の皆様への配当をすることとしております。内部留保につきましては、企業価値向上のための投資等に活用し、将来の事業発展を通じて株主の皆様へ還元させていただき所存です。

●配当

2024年9月期に上場後、初の配当を実施。2025年9月期の1株あたり配当金は14円（予想）。

今後も、安定的な利益成長に応じた株主還元を配当により実現してまいります。

	2023年9月期	2024年9月期	2025年9月（予想）
1株あたり配当金	無配	12円00銭	14円00銭
1株あたり当期純利益	34円86銭※	52円82銭	57円66銭

※2024年4月1日付で普通株式1株につき3株の割合で株式分割を行っております。2023年9月期の期首に株式分割が行われたと仮定し、1株あたり当期純利益および潜在株式調整後1株あたり当期純利益を算定しております。

詳細については、開示文書をご参照下さい。

<https://contents.xj-storage.jp/xcontents/AS05165/05420576/c9ea/4fbe/b829/e9bc157645e6/140120240513592891.pdf>

FCE GROUP

株式会社 FCE IR サイト

<https://fce-hd.co.jp/ir/>



株式会社 FCE IR 公式 X (Twitter)

https://x.com/fce_ir

